



株式会社BREXA CrossBorder

〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1-14-8 梅田北プレイス 2F

質問(1)







外国人材に、欲しいか欲しくないかなど確認すると、 「大丈夫です」という答えが返ってきます。どのように聞いたら いいでしょうか。Yes、Noと言うのは抵抗があるのでしょうか。

『はい』または『いいえ』の代わりに『大丈夫』と言っているのであれば、 『ほしいです』または『ほしくないです』と答えるように伝えています。 遠慮して『大丈夫です』と言っているのであれば、

『ほしいですか? それとも、ほしくないですか? どちらでもいいですか? 1つ選んでください。』と聞くようにしています。選択肢が用意されていて、

どれを選んでもかまわないとアピールすると、徐々に意思表示をするようになっていき ます。ご担当者様が率先して選ぶ姿を見せるのもいいですね。

安心して自分の意見を伝えられるような関係性になるまで少し時間がかかると思いますが、ぜひ本セミナーでお伝えしている【やさしい聞き方】を実践してみてください。

質問(2)







日本語の発音がとても聞きにくく、何を言っているのか分からない ことがあります。どうすれば正しい発音になりますか?

焦ってしまって早口になっている状態であれば、落ち着いてゆっくり話すよう 声をかけます。指摘しすぎて自信を失うとよくないので、タイミングや頻度、 伝え方を工夫するようにしています。

自分でできる方法であれば、シャドーイングという訓練をお勧めしています。 (英語学習者の間でも人気の学習方法です。)

日本語母語話者にとって、例えば英語のRとLの使い分けやTHの発音が難しいように分かっていてもなかなかできないということもあります。最近では同国出身者による発音克服動画も増えてきています。どのように克服したのか、やり方を母国語で解説している動画もありますので、一緒に見てみてはいかがでしょうか。

質問(3)







異文化教育の中で、日本について実習生が一番驚かれることは 何ですか?

色々な意見が聞かれますが、『ルールの厳しさ』に驚かれる方が多いです。

日本の会社独特の文化(報告・連絡・相談)や、協力、改善など、一つ一つ 意味や必要性を教えて理解してもらうようにしています。

生活面でも、ゴミ出し・騒音など生活ルールも母国と大きく異なります。

賃貸アパートを退去する際のルールなども母国と異なる場合があり、トラブルに

発展することもあります。あらかじめ説明しておくことが大切です。

見た目に分かるものだけでなく、価値観、感覚、道徳感などにも違いがありますが

個人的な問題だと感じてしまい人間関係が悪くなってしまうこともあります。

文化の違いにはいつもアンテナを張っておくといいですね。

質問(4)







イスラム教徒を受け入れる場合、お祈りについては企業の方に どのように理解してもらっていますか?

イスラム教徒にとってのお祈りの意味などをご説明し、理解を深めていただけるよう

サポートします。その上で、他の企業で成功しているケース(お祈りの時間や

スペースの確保に関する工夫、柔軟に調整できる点など)をご案内し、

円滑に受入れが出来るようサポートすることが重要です。

2025年度日本人従業員向け「外国人共生講座」にて、6月にイスラム教徒の受入れ

をテーマにセミナーを実施いたしました。インドネシア人通訳者がゲスト出演し、

インドネシア人の目線からも語っております。ぜひ、見逃し配信をご覧ください。

【見逃し配信・資料ダウンロードリンク】

https://jac-skill.or.jp/coexist-course/#link02

質問(5)







受け入れ企業側も日本語学習について知識を深められる 材料・資料があれば教えてほしいです。

『いろどり』_国際交流基金

(ダウンロードリンク: https://www.irodori.jpf.go.jp/)

絵や副教材が豊富で、教育者側のスキルがない場合も、流れの通りに一緒に 見ていけば『日本語でできることが増える』ように設計されています。

『みどり』_JITCO(外国人技能実習機構)

(ダウンロードリンク: https://hiroba.jitco.or.jp/categories/index/1)

こちらも同様、教育者のスキルがない方、非母語話者でも教えられるような 親切な設計になっています。

また、弊社では、日本人担当者に向けた日本語講習なども承っております。 お気軽にご相談ください。



